

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要じょう乱の概要&gt;

- 18日から20日にかけては、本州付近から日本の東へ高気圧が移動する。
- 21日から22日にかけては、東・西日本付近を前線が進む。

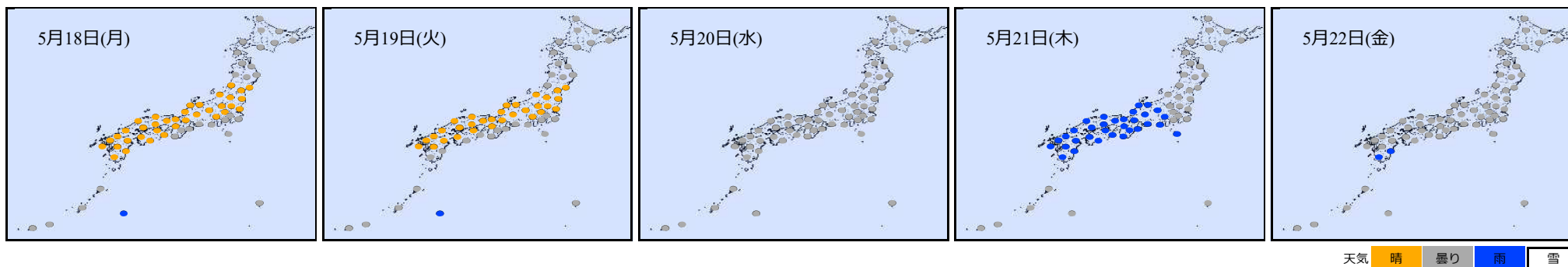
## &lt;防災事項&gt; 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

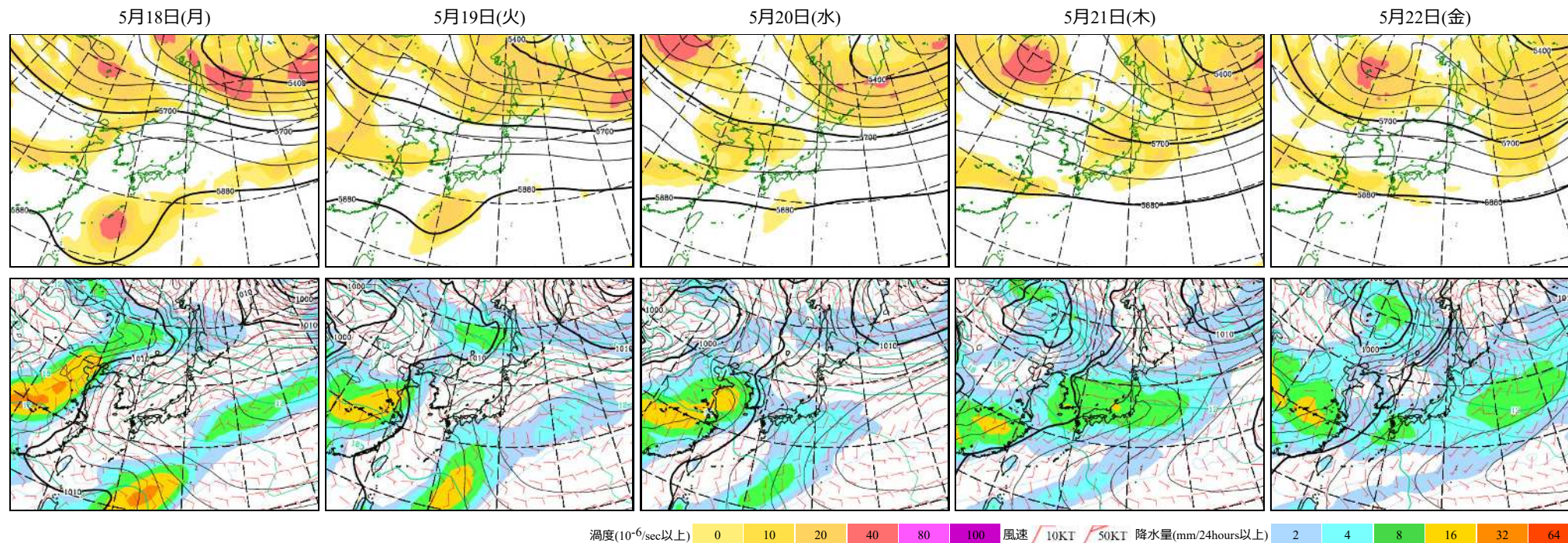
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

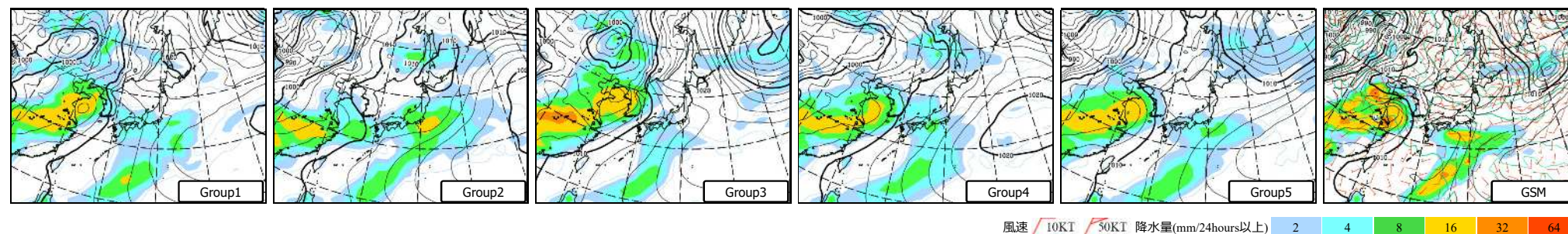


- 北日本は、雲が広がりやすいが18日と19日は晴れる所もある。
- 東日本と西日本は、18日と19日は晴れる所が多いが、その後は雲が広がりやすく、21日は雨の所が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすいが、18日と19日は雨の所もある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆5月20日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、切離した寒冷渦は18日は沖縄本島付近で、その後不明瞭になりながら日本の南を東進する初期値変わりをした。21日は本州付近が気圧の谷となる初期値変わりをした。地上の気圧配置も、18日から20日は、気圧の谷が沖縄本島の南から東・西日本南岸付近へ進む初期値変わりをした。21日は本州付近に前線が進む初期値変わりをした。
- 各モデルともに、切離した寒冷渦の予想は18日は揃ってきたがその後は差がある。19日の寒冷渦はGSMは南大東島の北、ECMは沖縄本島付近、NCEPは沖縄本島の東に予想する。ENSは、それぞれのモデルに近いメンバーを含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報はおおむね最新のENSを基とする。